ALCARE

つなぐ手あて、ひらくケア。

セルケア®2
Cellcare 2

Remois

ツーピースオストミーシステム
2-Piece Ostomy System

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)
www.alcare.co.jp

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、
皮膚に固定する粘着部分の面板が独立した二品系(ツーピース)装具です。
面板はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、
ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。
安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、
この取扱説明書に従いご使用ください。
なお、商品についてご不明な点は、
お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたうえ、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。
誤った取り扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。
万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

注　意

- ●ストーマ周囲には軟膏など、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜剤もその特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください。)
- ●剥離フィルムを剥がした面板の表面には、指などが触れないようにご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- ●一度剥がした面板をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- ●ご使用中のストーマ袋の中を水などで洗浄することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。
- ●装具を装着状態で折り曲げないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。
- ●面板の粘着面が冷たくなっていると、貼り付きが悪い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
- ●フリーカットの場合、面板に開ける穴は、定められた有効径を越えて切らないでください。面板からのモレの原因となります。
- ●排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、適宜お捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。
- ●装具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。装具の交換日数は、発汗や排泄物などにより異なりますが、2～5日交換が目安です。
- ●万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

保管上のご注意

粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。

- ●高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
- ●温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
- ●直射日光があたる場所での保管
- ●圧迫がかかる場所での保管
- ●長期保管

＊箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。

- ●面板の剥離フィルムを剥がした状態での保管

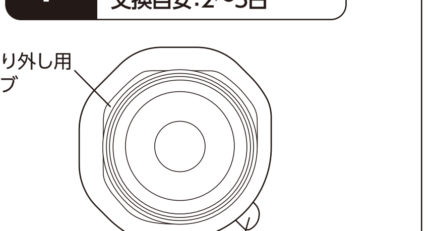
廃棄上のご注意

使用済みのストーマ装具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。 装具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、 地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自治体にご確認ください。

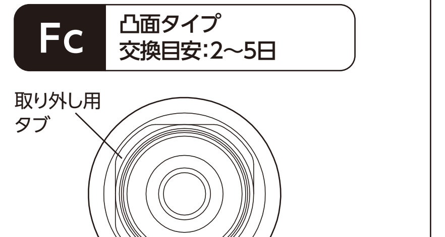
セルケア2の種類と各部の名称

●面板

F 平面タイプ
交換目安:2～5日



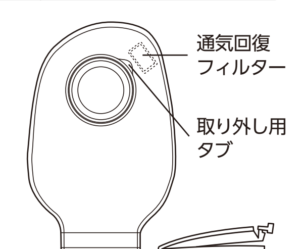
Fc 凸面タイプ
交換目安:2～5日



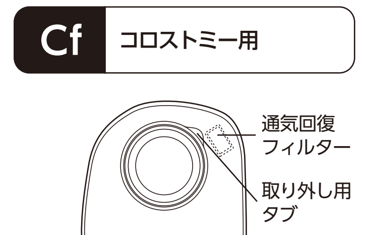
凸面タイプ
ストーマ周囲にシワや凹凸がある方、平坦または陥没ぎみのストーマの方用です。

●ストーマ袋

Df コロ／イレオストミー用

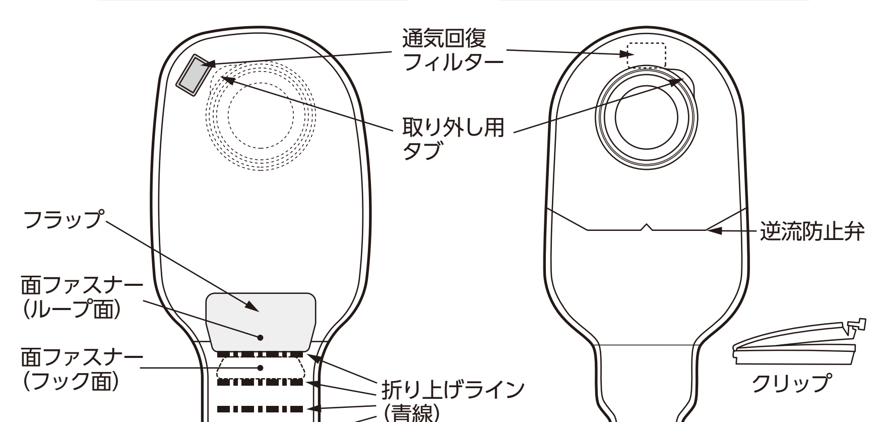


Cf コロストミー用



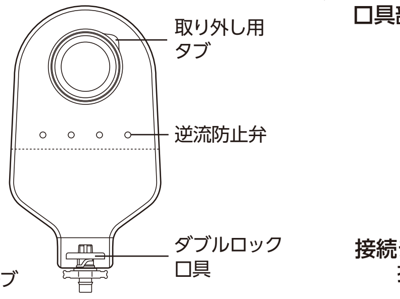
TDf コロ／イレオストミー用

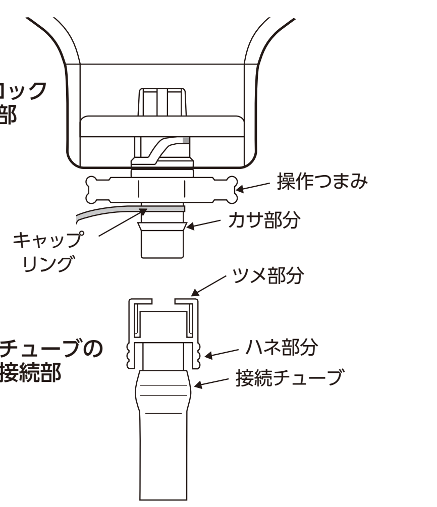
D キャップ イレオストミー用



TDfをお使いのお客様へ
●面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態で使用すると、接着力が弱まったり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

U ウロストミー用

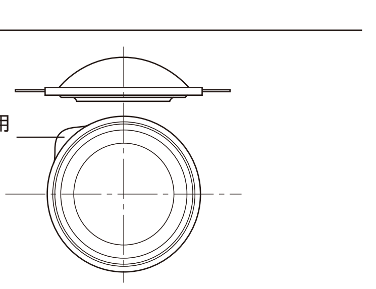




接続部の取り扱いについて
詳しくは、「使用手順(排出口の開閉方法)<Uの場合>」「接続チューブの使用上のご注意」をご確認ください。

●入浴用装具

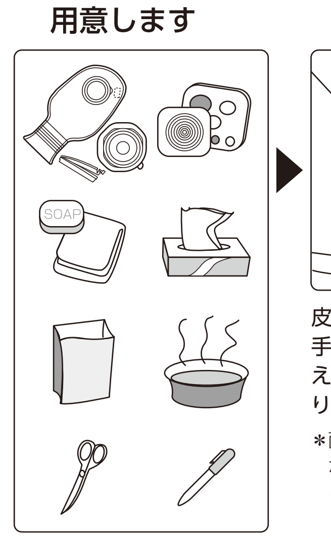
BC 入浴用キャップ



入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

準備

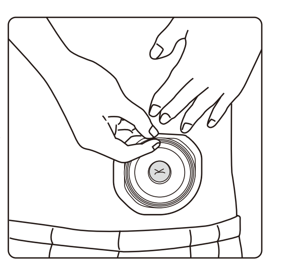
❶必要物品を用意します



●ご使用の面板とストーマ袋●ストーマメジャーまたはカッティングゲージ●石鹸●ガーゼ●ティッシュペーパー●ゴミ袋●ぬるま湯●ハサミ(フリーカットの場合)●細い油性ペン(フリーカットの場合)

❷面板を剥がします

※イラストはFです。



皮膚を傷つけないように片手でお腹の面板近くを押さえながら、上から下へゆっくり、やさしく剥がします。

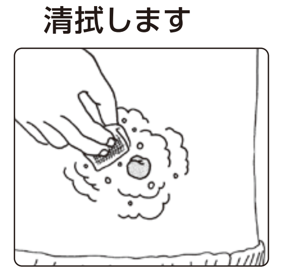
＊面板が皮膚に密着して剥がれない時は、剥離剤を使いながら剥がすとよいでしょう。

使用上のご注意
ストーマ装具の交換の際は以下の点にご注意ください。

入浴直後の交換は、お避けください。面板の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がしにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たって面板の温度が下がったのを確認のうえ、行ってください。

準備

❸ストーマ周囲を清拭します



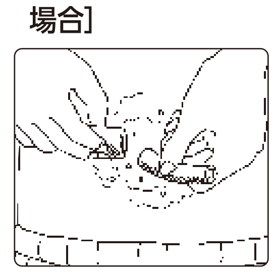
装具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュペーパーなどで拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯を染み込ませたガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面板が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。

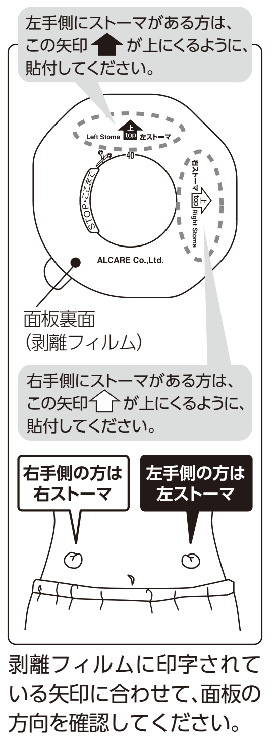
＊ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用は避けましょう。

[ウロストミーの方の場合]



清拭の間にも尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

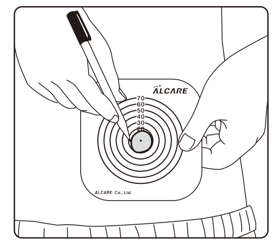
❹面板を貼る位置を確認します


左手側にストーマがある方は、この矢印 ⬆ が上にくるように、貼付してください。
Left Stoma 上 top 左ストーマ
右ストーマ top Right Stoma
STOP
ALCARE Co.,Ltd.
面板裏面(剥離フィルム)
右手側にストーマがある方は、この矢印 ⇧ が上にくるように、貼付してください。
右手側の方は右ストーマ
左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。

使用手順(面板の貼り方) ※フリーカットをご使用の方は①から、プレカットをご使用の方 は④からお読みください。

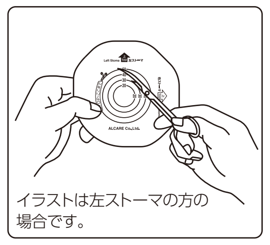
●フリーカットの場合 ※イラストはFです。



❶ストーマの大きさを測ります

ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてとっておきます。

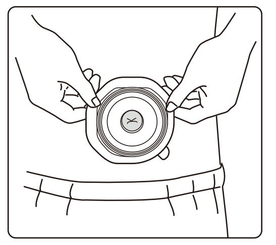
＊ストーマの大きさは変動することがあります。1ケ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。


イラストは左ストーマの方の場合です。

❷面板に穴を開けます

穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面板の剥離フィルム側に重ね合わせて、面板に穴の大きさを書き写します。その線よりも1～2mm程度大きめに面板を切ります。

＊この際、ストーマを傷つけないように面板の切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。

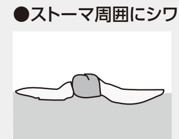


❸穴の大きさを確認します

剥離フィルムを剥がす前に面板をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

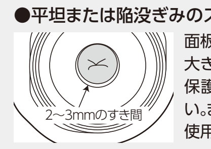
このような場合には

●ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合



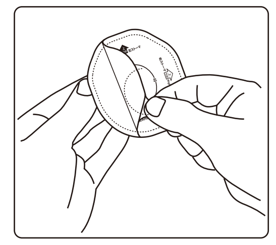
別売りの各種皮膚保護剤で、皮膚表面を整えてから面板を貼ってください。または、凸面タイプの面板をご使用ください。

●平坦または陥没ぎみのストーマの場合



面板の穴をストーマより2～3mm大きめに開け、別売りの各種皮膚保護剤で、すき間を埋めてください。または、凸面タイプの面板をご使用ください。

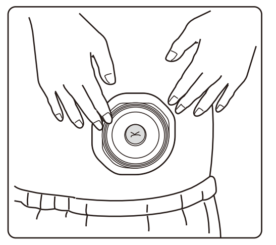
●フリーカット、プレカット共通 ※イラストはFです。



❹剥離フィルムを剥がします

タブを持って面板の剥離フィルムを剥がします。

＊剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。(使用手順 準備の❹参照)
＊ストーマの大きさは変動することがあります。1ケ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。



❺面板を貼り、よく押さえます

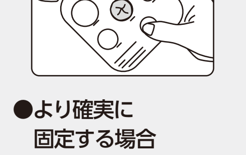
面板の上下を確認のうえ、お腹のシワを伸ばすようにして、面板を貼ります。面板を貼付したら、皮膚にきちんと付くように、ストーマ周囲から外側に向けて、手で押さえながら十分に密着させます。

＊面板を貼付する時は、皮膚を伸ばしすぎないようにしましょう。
＊軟膏などは粘着力低下の原因となりますので、併用しないでください。

このような場合には

●ストーマサイズを計測する場合

ストーマサイズの計測には、パッケージ内のストーマメジャーまたはカッティングゲージをご利用ください。

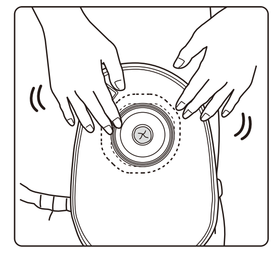


●より確実に固定する場合

面板を皮膚に密着させ、確実に固定するには、ベルト(固定ベルト・Ⅱ)の併用が効果的です。ベルトのご使用方法は固定ベルト・Ⅱの取扱説明書をご確認ください。

[ウロストミーの方の場合]
装具交換時も尿が絶えず出ていますので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながらタイミングを見て貼るようにしましょう。

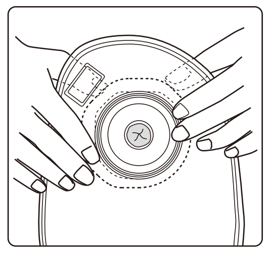
使用手順(ストーマ袋の装着方法)



❶ストーマ袋の位置を合わせます

ストーマ袋を持ち、面板とおおよその位置で重ね合わせ、上下左右にずれないことを確認します。

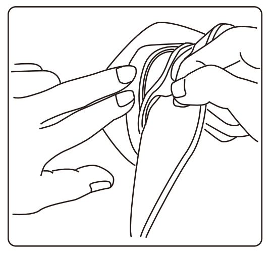
＊リング部分に排泄物などが付着している場合は、しっかり取り除いてください。
＊《セルケア2》以外の装具との組み合わせはできません。



❷ストーマ袋をはめ合わせます

リングの位置合わせができたら、親指と他の指ではさむようにして、指を移動させながらはめ合わせます。

最後に、袋の上からリングをなぞったり、軽く袋を引っ張るようにして、はめ合わせが正確にできていることを確認してください。

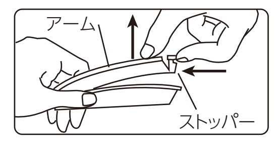


❸ストーマ袋の外し方

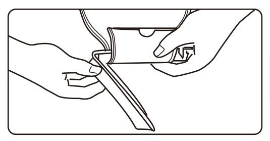
ストーマ袋の取り外し用タブをストーマ袋と一緒に持ち、もう一方の手で面板側の取り外し用タブを押さえながら、ゆっくりストーマ袋をめくるように外してください。

使用手順(排出口の開閉方法) <Dfの場合>

●Dfの排出口の閉じ方

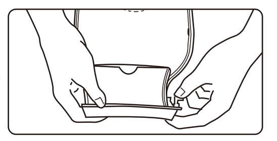


❶クリップを開きます
図のようにストッパーを押しながら引き上げて、クリップを開きます。



❷ストーマ袋を巻きつけます
引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一重に巻きつけます。

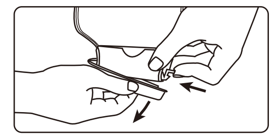
＊クリップのカーブが体に合うように向けてください。



❸クリップを閉じます
ストッパーを押しながらクリップを閉じます。

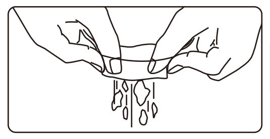
＊最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

●Dfの排出口の開け方／排出方法



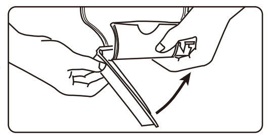
❶クリップを外します
しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き下げてクリップを外します。

＊ストーマ袋を押さえておくことで、クリップを外した際に、急に便が排出されることを防ぎます。



❷便を排出します
ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモレの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向けて、ストーマ袋内の便を排出します。

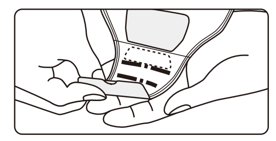
＊ストーマ袋の折り返しがしやすいように裾広がりのベルボトム形状になっています。



❸ストーマ袋の先端をクリップで止めます
便の排出が済んだら、排出口部分をトイレットペーパーなどで拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

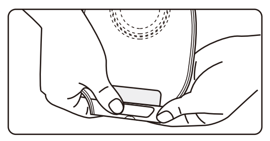
使用手順(排出口の開閉方法) <TDfの場合>

●TDfの排出口の閉じ方

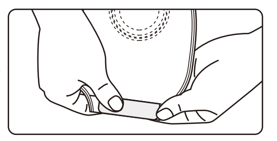


❶末端を折ります
末端のプレートを手前に4回折り上げます。

＊折り上げにゆるみやシワがあると、便や臭いモレの原因になります。

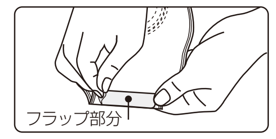


❷面ファスナーのフック面が表になります
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出てきます。

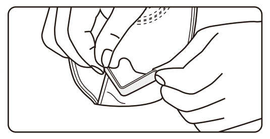


❸フック面にループ面を重ねます
フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押し付けて面ファスナーを止めます。

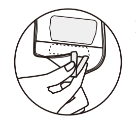
●TDfの排出口の開け方／排出方法



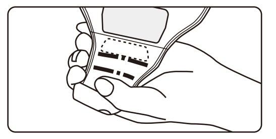
❶フラップ部分を剥がします
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がします。



❷折り上げた部分を開きます
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートをV字に折り曲げると排出口が開いた状態で保持され、排出と拭き取りが容易にできます。



＊V字にしっかりと折って、クセをつけます。

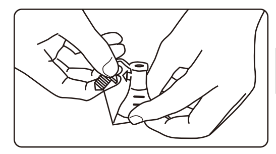


❸便を排出します
ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出します。

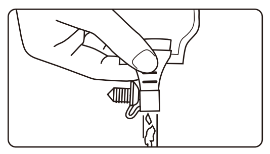
＊排出口付近に便が残っていると、便や臭いのモレが発生することがありますので、排出口付近はきれいに拭き取ってから閉じてください。

使用手順(排出口の開閉方法) <D キャップの場合>

●D キャップの排出方法／排出口の閉じ方

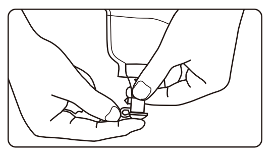


❶キャップを外します
排出口を上に向け、便が出てこないように注意しながらキャップを外します。



❷便を排出します
キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向けて便を排出します。

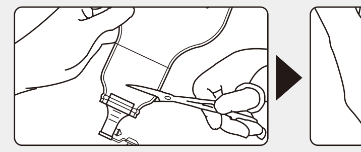
＊排泄物に残りかすが多い場合には、口具部分を指先で押して、便をしぼり出してください。



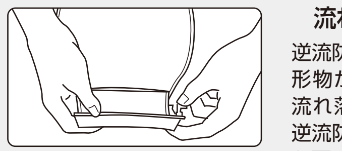
❸キャップを閉じます
排出が終わりましたら、排出口部分をトイレットペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

このような場合には

●排泄物に残りかすが多く、詰まりやすい場合



排泄物に残りかすが多く、詰まりなどによって、口具部分からの排出が困難な場合は、口具の上方をカットして、下部開放型ストーマ袋として使用することができます。



下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。

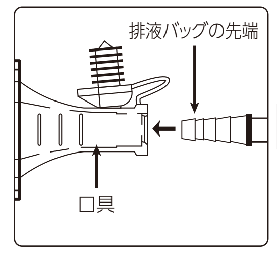
＊クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dfの場合>」をご覧ください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合

逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

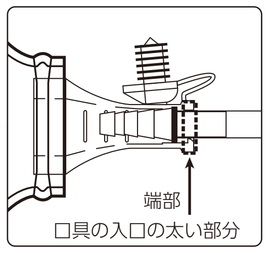
使用手順(排液バッグとの接続方法) <D キャップの場合>

就寝時など、排液バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。



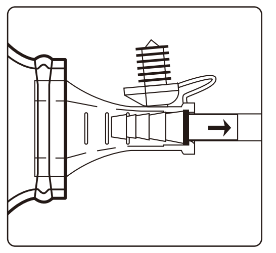
❶口具キャップを外します

排出口を上に向け便が出てこないよう注意しながら、口具キャップを外します。



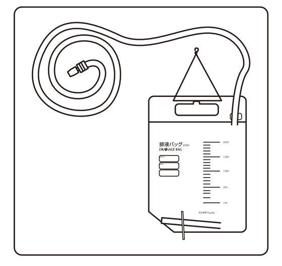
❷端部を差し込みます

排液バッグの端部を、口具の太くなっているところを超えるまで差し込みます。



❸端部を引き戻します

排液バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。



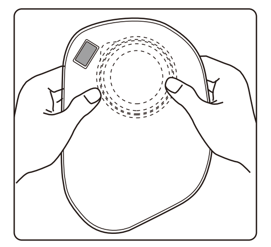
排液バッグ(別売商品)のご紹介

※〈排液バッグ〉(当社製品)の場合、バッグの先端が口具にぴったりフィットします。

使用上のご注意
排液バッグに接続の場合、詰まりにご注意ください。
排泄物が泥状の場合など、排液バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。
流れが悪い場合、排液バッグの併用はお避けください。

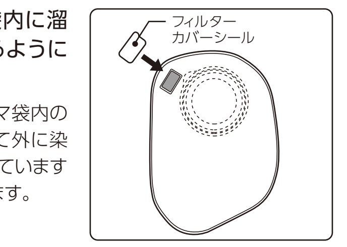
通気回復フィルターについてのご注意

●TDf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合 ※イラストはCfです。



フィルターは、ストーマ袋内に溜まったガスが徐々に抜けるようになっています。

＊なお、フィルターは、ストーマ袋内の排泄物がフィルターを通って外に染み出すことがない構造になっていますので、安心してご使用になれます。


フィルターカバーシール

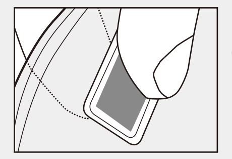
重 要

以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。

❶ ガスが抜けすぎる時
ガスが抜けすぎると、真空状態のようになり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に貯留してしまうことがあります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさぎ、ストーマ袋内にガスが溜まるようにしてください。ストーマ袋内にガスが溜まったらシールを剥がして、手で軽くストーマ袋を押してガスを出してください。

❷ 入浴の時
入浴時に外側からの水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣服を汚してしまう原因となります。

＊ストーマ袋を装着して入浴した場合には、入浴後、乾いたタオルなどでストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。



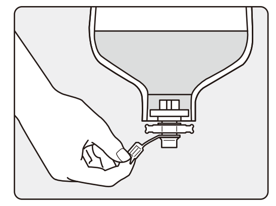
このような場合には

●ご使用中に“ガスがスムーズに抜けない”と感じたら

- ・フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするようにして拭い、取り除いてください。
- ・フィルターを表側と裏側から指でつまんで、2～3回圧縮してください。

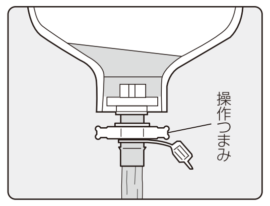
使用手順(排出口の開閉方法) <Uの場合>

●排出口の開け方／閉じ方



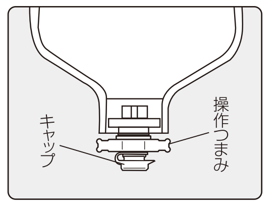
❶キャップを外します
二重ロックされていること(上から見て左回り方向に回転しないこと)を確認して先端のキャップを外します。

＊ロックされている状態では尿はまだ出てきません。



❷尿を排出します
操作つまみを180°(上から見て右回り方向)回転させます。

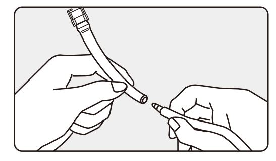
＊この時、尿の排出が行われます。



❸キャップを付けます
排出が終わりましたら、操作つまみを元に戻し、次にキャップを付けます。

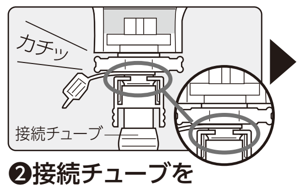
＊キャップを先に閉めますと、先端部分に尿が残りやすくなりますので、ご注意ください。

●接続チューブの付け方(夜間など他の蓄尿バッグが必要な時にお使いください)

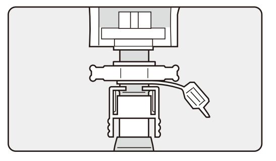


❶コネクターを差し込みます
付属の接続チューブに、ご使用になる蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。

＊別売の<採尿バッグ 1号>をご使用の場合、この接続チューブは必要ありません。



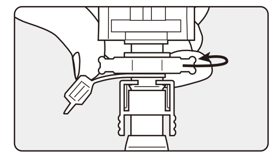
❷接続チューブを差し込みます
次に、キャップのみを外したウリナリーパウチに、接続チューブを“カチッ”と音がするまで強く差し込みます。この時、接続チューブのツメ部分が口具側のカサ部分にしっかりと掛かっていることを確認します。



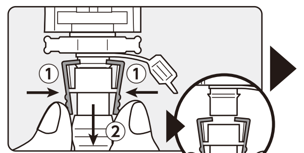
❸操作つまみを回転させます
最後に操作つまみを180°(上から見て右回り方向)回転させると、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。

＊接続チューブご使用時は、チューブのねじれや折れにご注意ください。

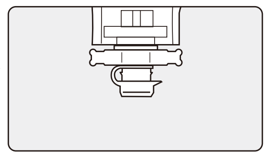
●接続チューブの外し方



❶導尿を止めます
操作つまみを180°(上から見て左回り方向)回転させ、ウリナリーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグへの導尿を止めます。



❷接続チューブを引き抜きます
接続チューブのハネ部を指で挟み、ツメのロックを外してから(イラスト①)、ゆっくり接続チューブを引き抜きます(イラスト②)。

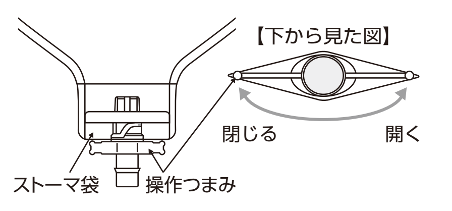


❸キャップを付けます
ウリナリーパウチの排出口にキャップをとりつけます。

操作つまみの使用上のご注意

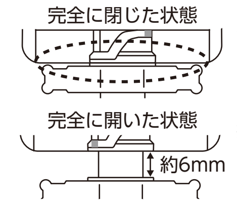
排出口を開閉する時は、操作つまみに無理な力を加えず、ゆっくり回転させてください。

＊「操作つまみ」は、ストーマ袋と平行になるまで、回転させます。



●「操作つまみ」の適切な状態の確認方法

＊回転が不十分な場合や可動域を超えて回転させた場合、排出口の「外れ」や「壊れ」の原因となります。

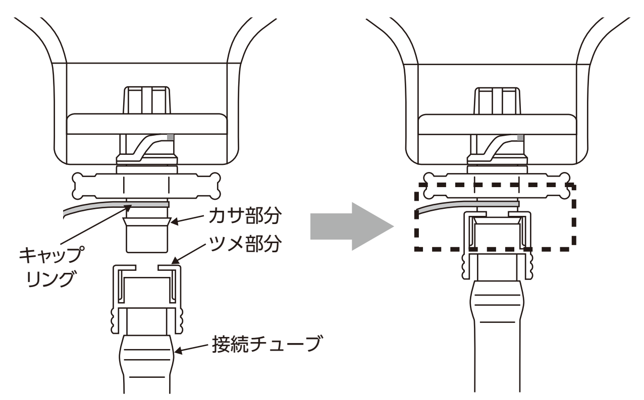


完全に閉じた状態：操作つまみとストーマ袋の間に、すき間がありません。

完全に開いた状態：操作つまみとストーマ袋の間に、約6mmのすき間ができます。

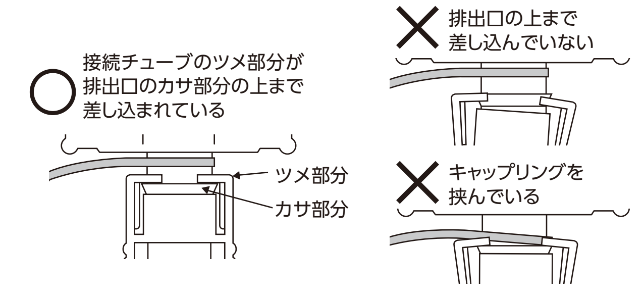
接続チューブの使用上のご注意

接続チューブ(ツメ部分)は、排出口(カサ部分)の上まで確実に差し込んでください。



●接続チューブの接続状態について

＊差し込みが確実でない場合、接続チューブが外れる原因となります。


○ 接続チューブのツメ部分が排出口のカサ部分の上まで差し込まれている
ツメ部分
カサ部分
× 排出口の上まで差し込んでいない
× キャップリングを挟んでいる

ALCARE
アルケア株式会社
東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

2309-2